

事業番号	09 05 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	家畜衛生対策事業	部局	農政部	課・室	家畜防疫対策室		
		実施期間	S25 ~	E-mail	kachiku-boeki@pref.nagano.lg.jp		
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係							
政策の柱	持続可能で安定した暮らしを守る						

1 現状と課題

日本国内において、家畜伝染病である豚熱及び高病原性鳥インフルエンザの感染確認が続いている。また、強い感染力と高い致死率を特徴とするアフリカ豚熱は、中国や韓国等近隣国で発生し、海外から違法に持ち込まれた肉製品からウイルスが確認される等国内への侵入リスクが高まっている状況である。

このため、感染状況の監視や飼養衛生管理基準の遵守を徹底する等、疾病の発生予防及びまん延防止を図る必要がある。

2 事業目的

家畜伝染病の発生予防や危機管理体制の強化並びに畜産物の安全性の確保推進等により、安全な畜産物の安定供給を図る。

3 事業目的を達成するための取組

① 伝染性疾病の発生予防及びまん延防止


- ・監視伝染病の検査を実施（鳥インフルエンザのモニタリング検査等）
- ・家畜防疫員による飼養衛生管理基準遵守状況確認のための農場立入検査

② 家畜伝染病発生時を想定した危機管理体制の強化


- ・防疫演習の実施
- ・現状課題となっている埋却候補地の確保を推進

③ 豚熱対策の実施

- ・飼養豚等へのワクチン接種
- ・免疫付与状況等確認検査を実施
- ・飼養衛生管理基準の遵守指導
- ・野生いのししへの豚熱対策を実施（感染状況確認検査、経口ワクチンの散布）



防護服着脱訓練



豚熱ワクチン接種

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	6疾病の監視伝染病検査実施率	%	100	100	→	100	→	100	△	家畜伝染病予防法に基づき伝染病のまん延防止のため設定	
②	防疫演習の参加事業者数	団体	0	0	→	10	↗	10	△	家畜伝染病発生時に迅速かつ的確な対応を可能とするための指標	
③	飼養豚への豚熱ワクチン接種率	%	100	100	→	100	→	100	△	豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき設定	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		62.8
	(要求)		300,940		300,940	127,014	
R4年度	0	175,252	0	175,252	59,089		62.8
R3年度	0	194,131	△ 30,468	163,663	54,889	136,081	63.2

事業番号	09 05 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	家畜衛生対策事業		部局	農政部	課・室	家畜防疫対策室

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	家畜衛生対策事業		194,131 千円	175,252 千円	(予算案) (要求) 300,940 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	家畜保健衛生所運営費	直接	家畜保健衛生所の適正な運営・管理を実施 県内5家保の運営		
2	家畜伝染病予防事業	直接	監視伝染病の検査及び農場立入検査を実施 6畜種の監視伝染病の検査及び839戸の農場立入検査を実施予定		
3	家畜衛生対策事業	直接	・特定家畜伝染病の発生を想定した防疫演習を実施 ・国・市町村と連携して埋却地確保を推進 防疫演習 2回実施予定		
4	豚熱対策事業	直接	・県内全域で飼養されている豚等へのワクチン定期接種及び免疫付与状況等確認検査を実施 ・野生いのしし感染確認検査による監視強化を実施 飼養豚へのワクチン接種を100%実施予定 年間900頭の野生いのしし検査を実施予定		